

学校だより



春里



平成30年度 5月号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、目標を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校



夢は「生きる力」の源

校長 松井 秀史

さわやかな風の五月となりました。新入生も少しずつ中学校に慣れ、疲れも出る頃かと思えます。2年生は「先輩」と呼ばれ、恥ずかしいような責任重大と感じるような感覚でしょうか。3年生は運動部員であれば最後の大会がもうすぐで部活にも熱が入り、また、進路に向けても自覚が出てきたころでしょう。張り切りすぎて疲れがたまってしまうてはいないでしょうか。大型連休で少し余裕を取り戻し、自分のペースを作れるようにご家庭でも見守っていただきますようお願いいたします。



《夢の力》

中学時代はたくさんの夢を抱いてほしいものです。「自分がやりたいことをたくさん持っている人は、ぐんぐん伸びていく。」と言われます。「宇宙へ行ってみたい」「プロサッカー選手になりたい」「幼稚園の先生になりたい」「ピラミッドを見てみたい」「将来大金持ちになりたい」等「夢」と呼べるものを頭に思い浮かべることは希望となり、人生を楽しくしてくれます。「でも、そんなにうまくいかないだろうなあ」なんて考えたら向上は望めません。大きな夢でなくても、身近なことでもやりたいことはたくさんあるはず。です。「おいしいケーキを食べたい」「数学のテストで前回より10点多くとりたい」「試合に勝ちたい」・・・子どもたちがやりたいことをみつけ、一步一步前進し、成長できる学校でありたいと考えます。



《部活動の思い出》

中学校時代の思い出を聞かれたときに「部活動」をあげる人は多いでしょう。部活動での経験は「一生の宝」と成り得るものです。中学校での部活動の体験が人生を方向付けた人も多くいます。小学生へのアンケートによりますと「中学校でや

りたいこと」のトップは部活動です。本校の1年生も部活動の仲間入りをして夢と希望でいっぱいのです。本校では部活動を「生きる力をはぐくむ」ための教育の一環として考えております。また、学校外での習い事等も教育的効果が期待されます。子どもたちが生きる喜びを感じ、生きていくための力を伸ばしていくための大切な活動になって欲しいと願っています。

《部活動の意義》



実際行われている活動を見ますと、下記のような特徴を持ち、楽しさや喜びを味わい、豊かな人間関係を築く有意義な教育活動と言えます。

- ①共通の興味や関心を持った者の集まり
- ②学年をこえて集まった異年齢集団
- ③自分が選んで活動する自主的な活動
- ④学校の教師が教育の一環として指導する教育活動

生徒たちが思い切り打ちこめる環境を作っていけるように、保護者・地域の方々とも連携していきますのでご協力よろしくお願いたします。



《ちょっとひとこと・・・》

中学生の本業は「学習」です。授業を受けて勉強をしなければいけません。でも、それだけでも駄目です。たくさんの夢を持ち、自分のやりたいことを見つけ、熱中し、たくさんの経験を積むことも大切です。辞めたくなることもきっとあるでしょう。苦しくなって何かのせいにしたくなることもあるでしょう。そんな時に人生の先輩として、ここから「がんばれ！」を言える大人になりたいものです。春里中生が自分の夢に向かって中学時代を過ごしてほしいと願っています。

